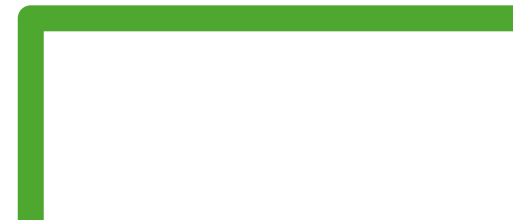


# 福生第五小学校

～愛鳥校としての紹介～



# 本校の鳥との関係

- ・ 昭和47年2月 東京都愛鳥モデル校に指定される。
- ・ NPO自然環境アカデミーの支援を受け、活動を継続している。
- ・ 野鳥観察会や巣箱作りなど、鳥に関わる活動を、「総合的な学習の時間」の中で取り組む。

その他にも...

- ・ 愛鳥博士テスト・スーパー愛鳥博士テストの実施
- ・ 愛鳥自然委員会による取組

などが挙げられる。

# 校内掲示



校内では鳥についてさまざまな物を掲示している。

- ・ 野鳥の羽や卵、資料がある愛鳥コーナー
- ・ 愛鳥下じき
- ・ 愛鳥博士テスト用勉強コーナー
- ・ 児童が書いた鳥の絵
- ・ 鳥のはくせい
- ・ 各教室の提示
- ・ 過去の表彰



野鳥について興味をもったり、  
自分からすすんで  
鳥を学習できる



## 年2回（春・冬）の野鳥観察会・秋の自然観察会

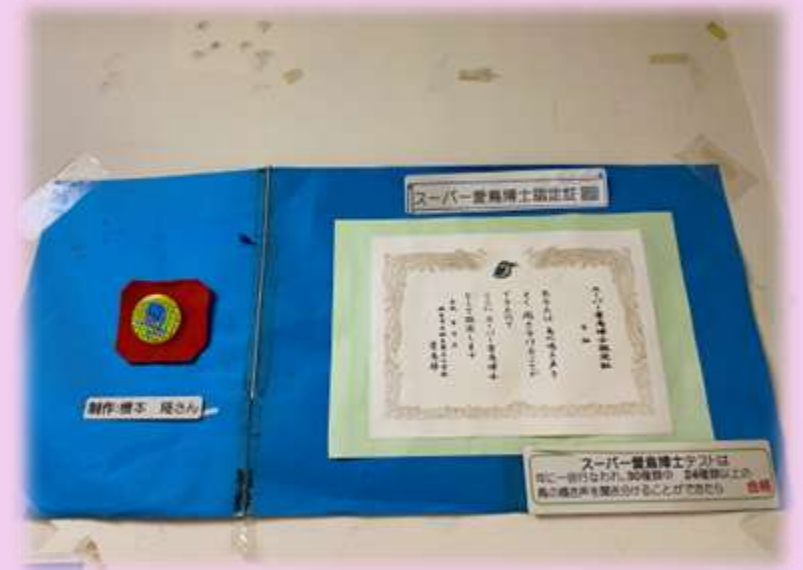
- ・1～6年生が年に2回（春・冬）野鳥観察会を行っている。
- ・秋には自然観察会がある。
- ・学校近隣の多摩川の川辺、草むら、木の上などで季節の野鳥が観察できる。
- ・川辺で虫取りや、水生生物の観察を行う。
- ・ゴミ拾い活動を行い、環境を守る。

# 愛鳥自然委員の取り組み

- 学年ごとのめあての鳥を展示し、集会で紹介をしている。  
→春、冬で鳥が変わる。
- 愛鳥自然委員は、草むしりや花植えで、巣箱の周りの環境を整え、鳥たちが暮らしやすい学校を作っている。



# 愛鳥博士・スーパー愛鳥博士



- 愛鳥博士テストは年に3回、スーパー愛鳥博士テストは、年に1回行う。
- 愛鳥博士テスト、スーパー愛鳥テストのために勉強できるスペースもある。
- 合格すると、賞状とバッヂをもらうことができる。合格者はテストニュースで知らされる。



A small black and white bird with a white patch on its face, perched on a branch. The bird has a black head and back, a white breast, and a white patch on its face. It is perched on a dark brown branch. The background is a soft, out-of-focus brown.

この鳥の名前は  
なんでしょう？

福生市の市鳥

シジユウカラ

# 巣箱作成・設置

- ・ 巣箱の作成は6年生が卒業制作として行い、3学期に5年生（次期6年生）に送る。  
その巣箱を、前年の経験を踏まえ、次年度4～5月ごろに校庭に設置する。
- ・ NPO自然環境アカデミーの方から、設置する場所のアドバイスを受けながら設置する。

## 令和6年度巣箱外し報告

- ・ ムクドリ用の大きい巣箱6つ、スズメ用の小さい巣箱6つの計12このうち、完全に巣作りしていたものは3つ、途中までのものは4つだった。
- ・ ある巣箱には、ムクドリの巣の上にスズメの巣が作られた形跡があった。



# 「親しむ」

# 「知る」

# 「守る」

# 運動

低学年から高学年まで、  
関わり方を変えながら  
鳥を学んでいきます。



# 「親しむ」

# 「知る」

# 「守る」

低学年

中学年

高学年

福生第五小学校 第6学年発表者

来住野 芹奈 小峰 ひびき  
原 愛華 樋口 映 山根 穂佳

いろいろな生き物の生態や  
動物を保護する大切さについて学び、  
日頃から環境や生き物への意識を  
もつことで、私たちは日々鳥を守り慈しんできました。

福生五小に関わった人たちが  
少しでも鳥や自然について知り、  
環境を守っていく活動を続けていくことを願っています。

最後までご視聴いただき、  
ありがとうございました。